

**「ローカル高卒就職者のキャリアと  
高校時代の経験に関する調査」報告書**

# 目次

調査概要	3
0. はじめに一言葉の定義	4
1. 主観的幸福観とキャリアパス満足度	4
2. 初期条件と適応スタイル	5
3. 高校時代の特定の経験の有無は環境変化への適応に役だっているのか	14
4. 高校時代の特定の経験の有無はキャリアパス満足度を高めるのか	16
5. これまでのキャリア選択行動はキャリアパス満足度と関係しているのか	20
付表1 回答者の属性	22
付表2 調査設問一覧（単純集計値）	25

# 調査概要

## 【調査の目的】

本調査では地方で働く高卒就職者が重視している生活価値観、および彼ら・彼女たちのキャリアパス満足はどのように形成されていくのかという点について高校時代の経験に着目している。

長期化した経済の低成長、各地域における産業構造の変化を前提に、高卒者の雇用環境は周知のとおり極めて厳しいものになっている。本調査ではそうした状況を踏まえつつ、高卒時点での「初期条件」がその後のキャリアパス満足に与える影響を確認することで、高校時代の学びに対する示唆を得るために企画・設定されたものである。

## 【調査の設計】

### 1) 調査対象者の設定

高校時代の経験を聞く振り返り調査であるため、高校卒業時点からの経過年を考慮して6年目までの有職者とした。

### 2) 調査の構成

調査は大きく以下の4つの観点から構成される。

#### 1 高卒就職者の主観的幸福観とキャリアパス満足度

主観的幸福観、主観的幸福観とキャリアパス満足度との関係

#### 2 初期条件

高校時代の成績・学内や学外の活動への取組状況（部活・学校行事・教科）リーダー経験、アルバイト、生涯にわたる友人

#### 3 適応スタイル

想定外の経験への対処

#### 4 キャリア選択行動

高校選択・文理などのコース選択・就職先・転職行動・人生の節目となった最初の転職

## 【実施概要】

調査対象：全国の大都市圏（東京・千葉・埼玉・神奈川・京都・大阪・兵庫・福岡）と沖縄県を除く、地域に居住する高卒就職者 2000 名

有効サンプル数：1730 名

調査期間：2012 年 1 月

調査方法：インターネット調査

## 0. はじめに一言葉の定義

キャリア発達は人生の他の側面から切り離しておこなわれるものではなく、人間関係、余暇の過ごし方、地域とのかかわりや精神的献身を通じた連帯感など、人生において並行して起こるさまざまな生活構造の中にキャリアパスを組み込むことであり、その結果としてキャリアは満足いく有意義な人生に貢献する（Peterson 他，2005）。

これらの考え方に沿って本稿で高卒就職者のキャリアを考える場合、職業生活だけでなく他の生活経験の中での役割との関係を重視し、生活構造の中に組み込まれたキャリアパスの満足度に着目する。キャリアパス満足度とは、人生における自己の選択についての満足である。この選択には上述のキャリアの定義の通り、働くことだけでなく、それ以外の側面も含んだ選択ということになる。

## 1. 主観的幸福観とキャリアパス満足度

### 1-1. 主観的幸福観

主観的幸福観とは、Richard（2006）の定義した幸福に影響を与える7大要素（Big Seven）のことで、1. 家族関係、2. 家計の状況、3. 雇用状況、4. コミュニティと友人、5. 健康、6. 個人の自由、7. 個人をさす。これに加え、8つ目の項目として社会基盤に関する設問を加え、この中から重視する価値を複数回答で確認した。

因子分析をおこなった結果、「個人」「社会・環境」「家族」といった3つの因子を取り出すことができた。

主観的幸福観の3因子

項目内容	I	II	III
	自己	社会環境	家族
自分の思い通りになる時間が多いこと	.95	-.08	-.16
趣味に熱中できること	.86	.05	-.13
適度にリフレッシュでき、ストレスが溜まらないこと	.80	-.03	.12
欲しい商品や情報を保有したり入手したりできること	.75	-.09	.06
病気がなく健康に生活できること	.65	-.07	.30
貯蓄	.60	.06	.07
適切な労働	.57	.32	-.04
地域における雇用の場を確保すること	.46	.35	.01
自ら学び・習う機会があり、好奇心をもち続けること	.41	.36	.08
住民の声が地域の政治や政策に反映されること	-.13	1.04	-.08
地域の秩序があり住民に公平・公正な社会制度が構築・運営されている	-.02	.93	-.04
他者の行動や思索、文芸作品、自然などに感動すること	.05	.64	.06
地域において友人や近所の他者から頼りにされること	.08	.43	.22
心を支え合える家族がいること	.00	-.06	.95
家族の問題を解決する際に、家族全員で相談できること	-.08	.06	.84
地域の仲間と思いやりのある人付き合いをすること	.17	.36	.29

因子抽出法: 最尤法 回転法: Kaiser の正規化を伴うプロマックス法

## 1-2. 主観的幸福度と、キャリアパス満足度の関係

主観的幸福度は、前述の「重視する価値観」を聞いた上で「全体として、あなたは普段の生活でどの程度、幸せを感じていますか。」と聞き、10点満点で回答してもらった (RIETI, 1992)。一方、キャリアパス満足度は、これまでの進路や就職先、転職先といった節目の選択を聞いた上で、「これまでの人生経験や仕事経験を振り返り、自身の『人生における選択』に点数をつけるとしたら何点でしょうか。100点満点でお知らせください」と聞いた。両者の相関を確認した結果、主観的幸福観とキャリアパス満足度との間には相関係数 .42 で中程度の有意な相関が認められている。

主観的幸福度とキャリアパス満足度の関係

	主観的幸福度	キャリアパス満足度
主観的幸福度	1	-
キャリアパス満足度	.42	1

$p < 0.01$

## 2. 初期条件と適応スタイル

### 2-1. 「初期条件」

初期条件とは、初めて社会に出る時や職を移行する時、それまでの経験や学習といった初期の経歴が大きくキャリアに影響するといった考え方。キャリアは時間的に推移していくため、初期の時点でのわずかな差が年を経るごとに少しずつ差が拡大し、数十年後には取り返しのつかない程の大きな差になる。

このように、若い頃の学習歴や学校歴がその後の若年キャリアに影響を与え、当初はわずかな違いであったものが、経年に応じてその差が雪だるま式に違いが拡大するのなら、若いうちにキャリアの課題を積み残さないことが重要となる。

### ◆ 高校時代の経験

ここでは、初期条件の一部として高校時代の経験と経験を通じて学んだ事柄について質問した。ここで取り上げる高校時代の経験とは、クラブ活動の経験とその種類・イベント(体育祭や文化祭などの学校行事)・教科の学習・リーダー経験(生徒会や委員会、部活などでの会長・委員長・部長などのリーダーの経験)・アルバイト経験・高校時代から続く生涯にわたる友人の数・出身校の進学率(進学者のほうが多い・就職者のほうが多い・進学と就職は半々)である。このうち、クラブ活動など、いくつかの経験については、各活動(経験)を通じて得られたことをあわせて聞いた。

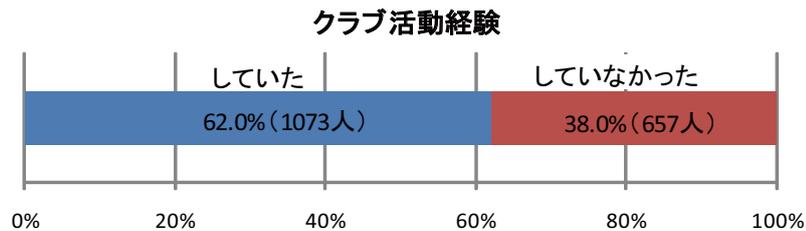
「活動を通じて得られたこと」対応表

協調性	協調性やチームワーク力が養われたこと	継続性	継続的に努力する習慣や態度が身についたこと
知識技能	活動そのものを通して得られた知識や技能そのもの	礼儀	礼儀や上下関係の基本が身についたこと
精神力	精神的なタフさ、精神力が養われたこと	失敗学習	失敗や困難な体験から学ぶことができたこと
達成感	何かをチームで達成することの喜びを知ったこと	集団スキル	集団で物事を進める基本的なスキルがついたこと
人間関係	その活動を通じて得られた人脈や人間関係	自信	自分に自信がついた
コミュニケーション	対人コミュニケーション力が養われたこと	対処	突発的な出来事に対処できるようになった
		その他	その他

## ◆高校時代の経験から得たこと

### ●クラブ活動

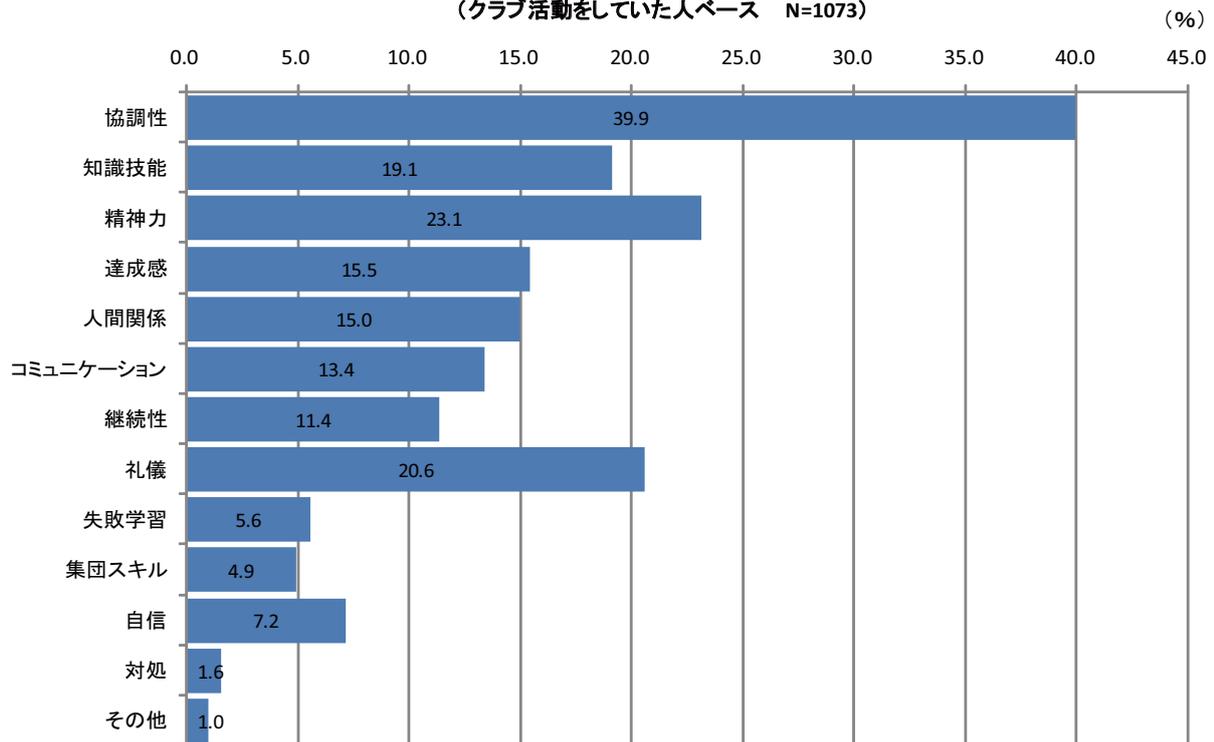
高校時代にクラブ活動経験があったのは1073名(62.0%)であった。この1073名に対して、クラブ活動の経験を通して得られたことを聞いた。その結果、「協調性やチームワークが養われた」の回答が一番多く、部活経験者のうち約40%を占めている。次が「精神的なタフさ、精神力が養われたこと」で23.1%、「礼儀や上下関係の基本が身についたこと」が20.6%で次に続いた。



### 高校時代の部活動を通じてあなたが得られたことは何ですか。

主なものをお答えください。(2つまで)

(クラブ活動をしていた人ベース N=1073)



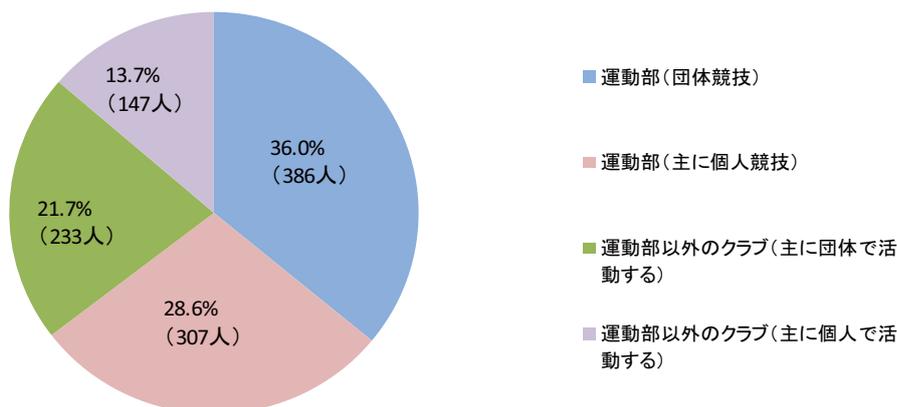
## ●クラブ活動の種別

次に、クラブ活動の経験の有無と運動部かどうか、団体での活動か個人の活動かによって、経験からの学びも異なると考え、クラブ活動の種別を4つに分類して確認した。

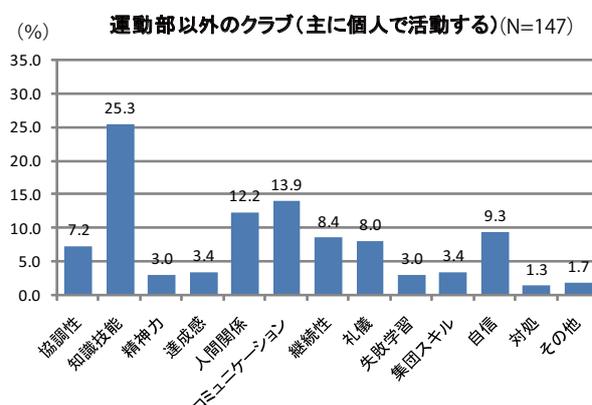
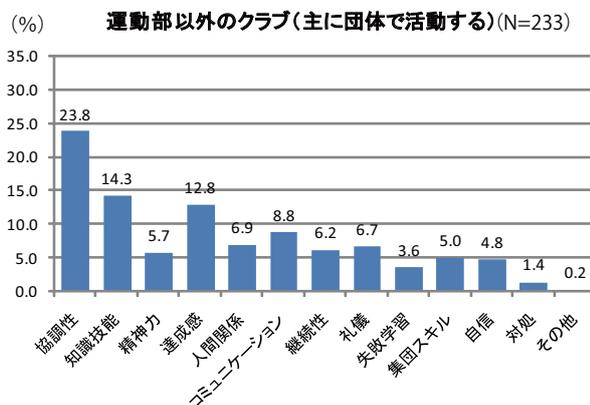
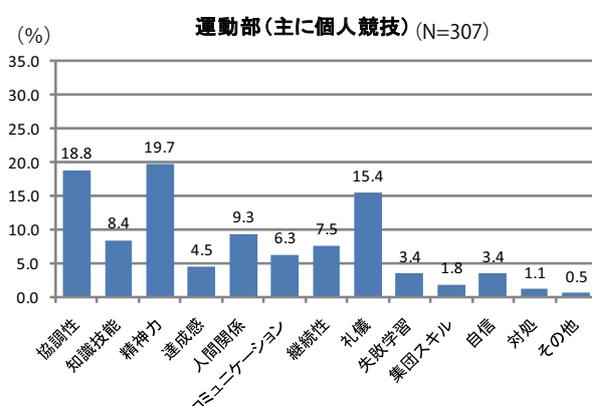
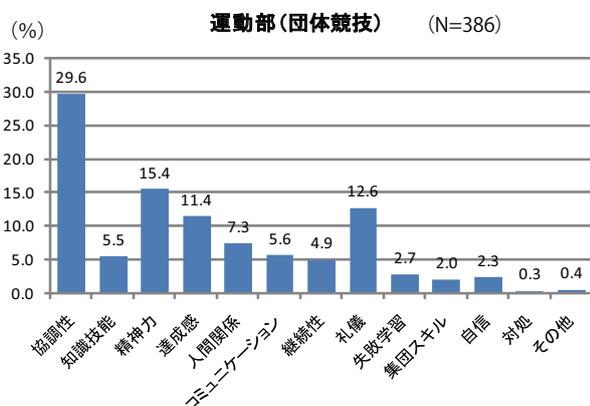
この結果からは、運動部（団体競技）では、協調性が他の項目に比してずばぬけて高く、運動部（主に個人競技）では精神力・協調性が高いことがわかる。

一方、運動部以外のクラブ（主に団体で活動する）は協調性が、運動部以外のクラブ（個人で活動する）では知識・技能を獲得した者が多いことがわかる。

クラブ活動の種別(クラブ活動をしていた人ベース N=1073)



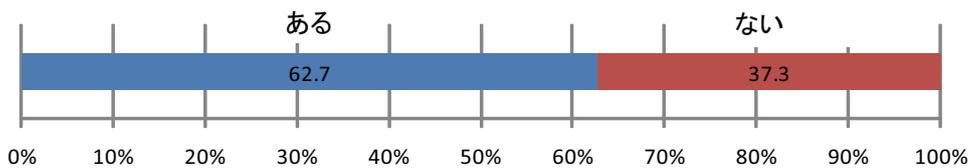
クラブ活動の種類別、「活動を通じて得られたこと」



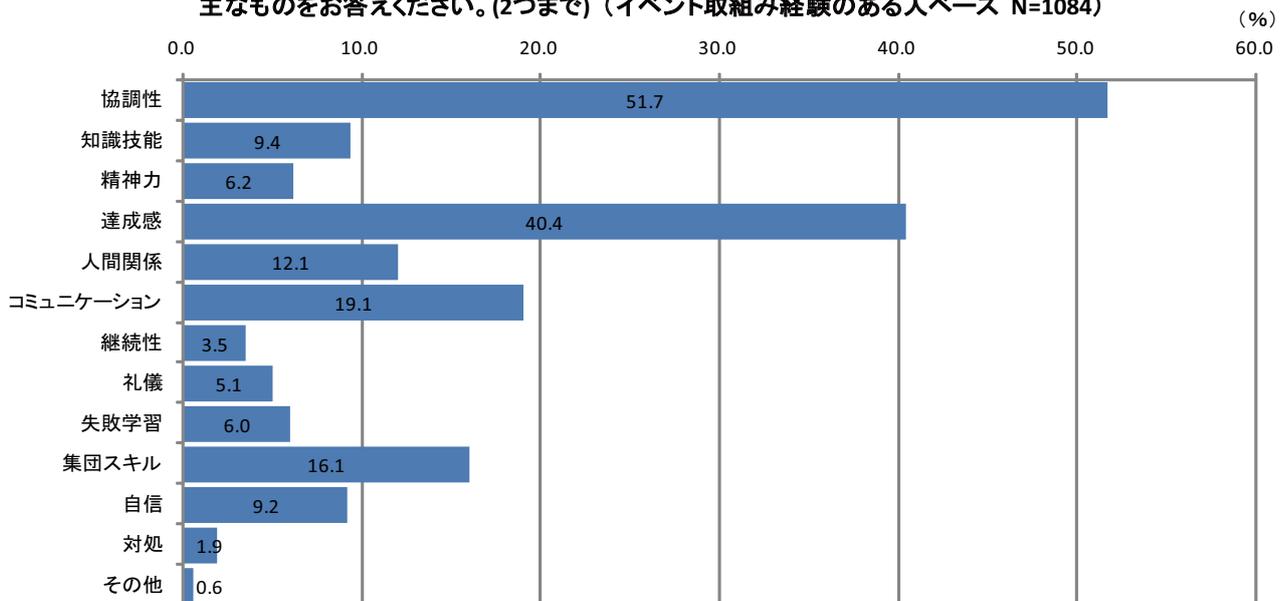
●イベント（体育祭や文化祭などの学校行事）への取り組み

イベント経験から得たことについても協調性と回答する者が多いが、特徴的なのは2番目に多い、「何かをチームで達成することの喜びを知ったこと」（40.4%）である。それ以外にはコミュニケーション・集団スキルといった集団で活動するスキルに集中して「得られた」と回答していることが明らかになった。

あなたはイベント活動(体育祭や文化祭などの学校行事)の中で  
1つでも積極的に取り組んだものはありますか？



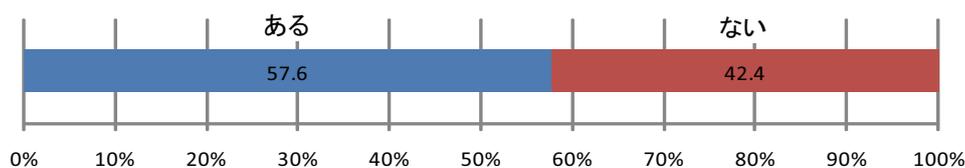
高校時代のイベント活動(体育祭や文化祭などの学校行事)を通してあなたが得られたことは何ですか？  
主なものをお答えください。(2つまで) (イベント取り組み経験のある人ベース N=1084)



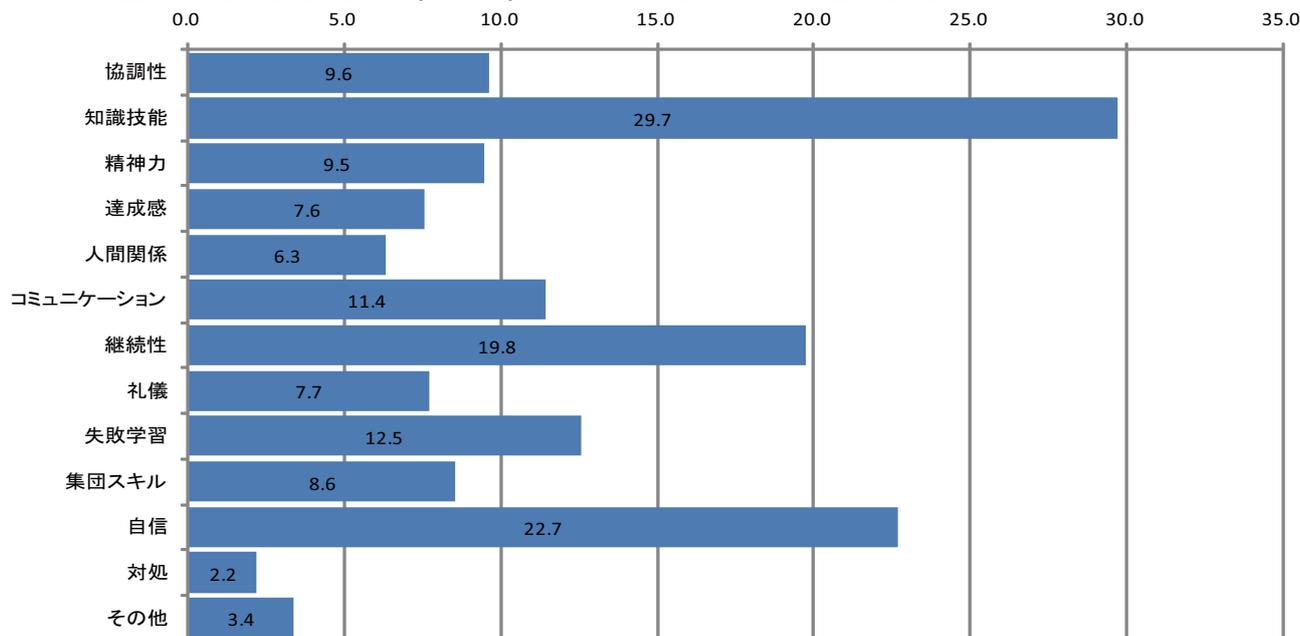
## ●教科の学習

教科の学習から得られたものとしては、「知識・技能」が高いが、二番目に高いのは「自分に自信がついた」(22.7%)、次に「継続的に努力する習慣や態度が身についたこと」(19.8%)である。この結果からは知識技能だけではなく、それを獲得する過程において継続的に学習・努力する習慣を得たり、やりきることでの自信をつけたりしていることが示されている。

あなたは教科の学習活動の中で1つでも積極的に取り組んだものはありますか？

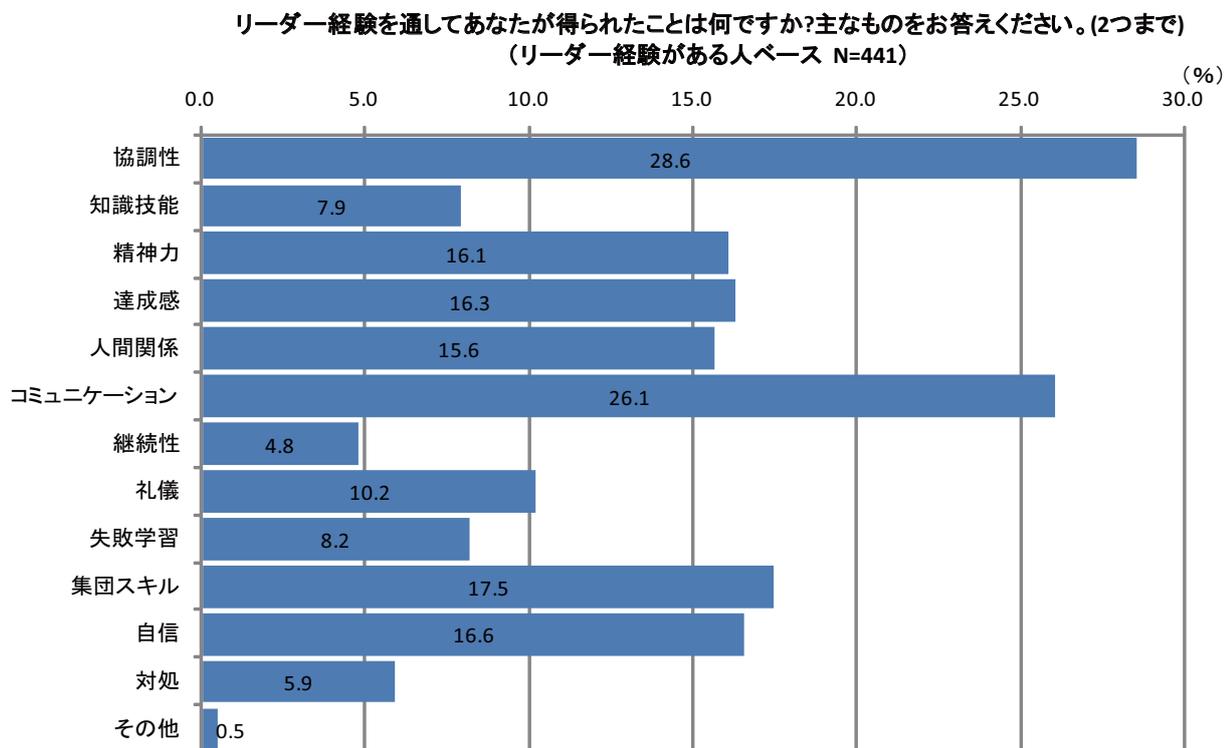
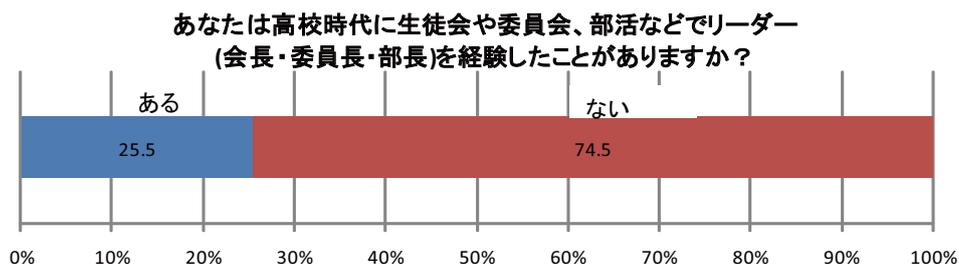


教科の学習活動を通してあなたが得られたことは何ですか？  
主なものを教えてください。(2つまで) (教科学習に積極的に取り組んだ経験のある人ベース N=996) (%)



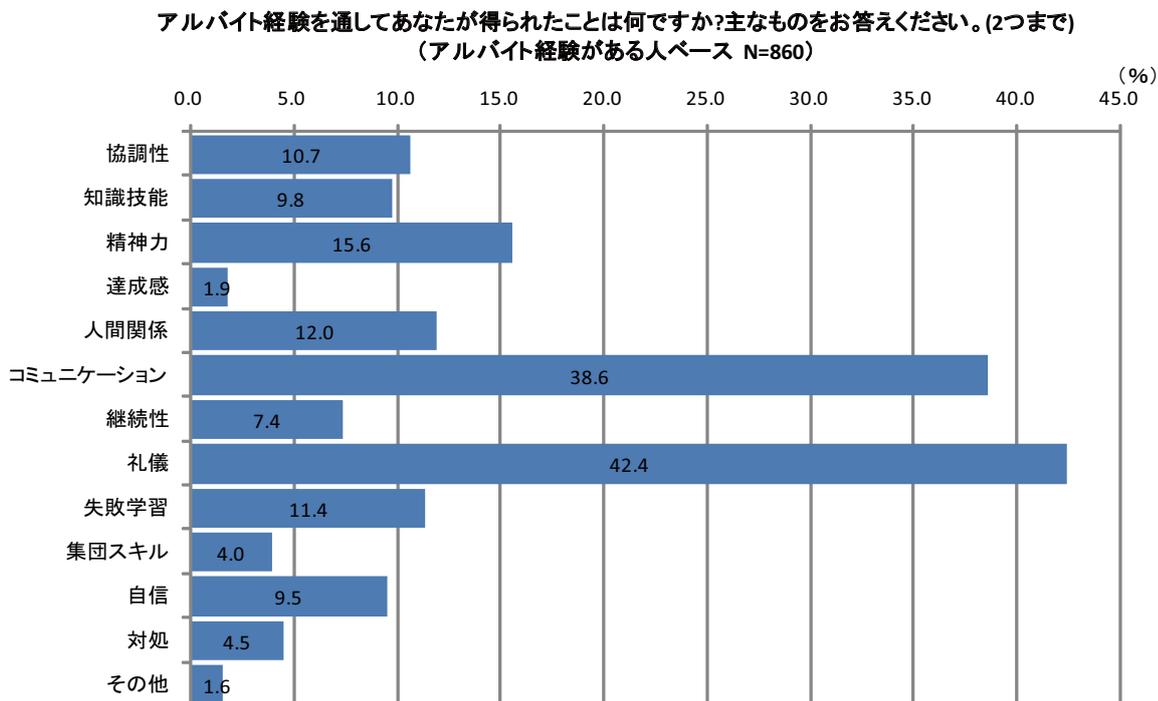
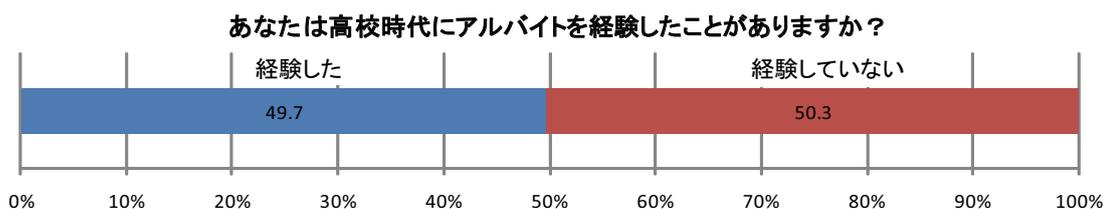
## ●リーダー経験

母数は少ないものの、ここでも協調性・コミュニケーション・集団スキルといった対人面での力がついたと回答する者が多い。さらに、精神力や達成感といった項目も比較的多く挙げられている。



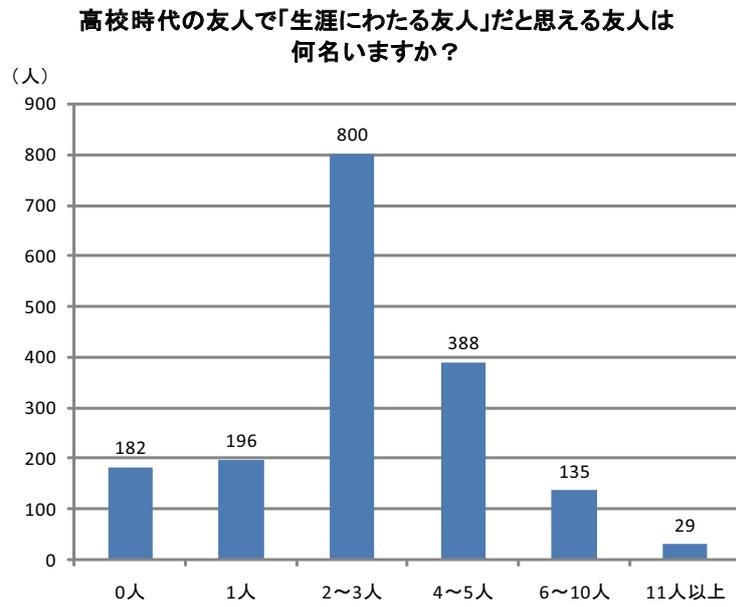
## ●アルバイト経験

回答者の約半数がアルバイト経験を有している。そしてアルバイト経験から得たものとしては「礼儀や上下関係の基本が身についたこと」さらに「対人コミュニケーション力が養われた」という回答が突出して高いことがわかる。リアルな社会の中で顧客と接する中でのコミュニケーション力の醸成、さらに職場での上下関係・子弟関係の中で礼儀の基本を身につけていることが示された。

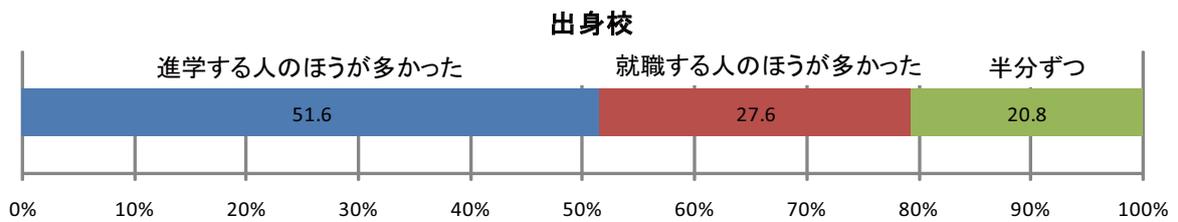


※参考 Benesse 教育研究開発センター「社会に必要な能力と高校・大学時代の経験に関する調査」(2010年)

●生涯にわたる友人の数



●出身校の別



## 2-2. 適応スタイル

絶え間ない変化と不確実性が取り巻く環境においても個人のキャリアには時間軸を超えた非直線的な行動パターンがある。こうした行動パターンは一見、何の関係もないように見えるが、非直線的な行動パターンとして確かに存在している。この行動パターンを解明するために、思いがけない出来事に対峙した時（以降、環境変化への適応時）の個人の行動スタイル・経験を聞いたものをここでは「適応スタイル」とよぶ。最尤法による因子分析を行った結果、4因子構造が妥当であると考えられた。4因子とは「非安定因子」「難局因子」「実現因子」「直観因子」で構成される。

項目	I 非安定因子	II 難局因子	III 実現因子	IV 直観因子
これまで、リスクを恐れて重要なことをしなかった経験がありますか	<b>0.713</b>	-0.065	-0.106	-0.043
欲しいものを手に入れてから、ほかのものの方がよかったと思っただけですか	<b>0.695</b>	-0.168	0.029	-0.014
マンネリにおちいってしまった経験がありますか	<b>0.671</b>	-0.080	0.030	-0.069
知らない方がよかったと思っただけですか	<b>0.599</b>	0.101	-0.010	-0.158
自分がある状況を一方向から見ていたのに対して、他人が全く違う見方をしていたという経験がありますか	<b>0.580</b>	0.032	0.094	0.030
自分ではまったく気づいていなかったあなた自身のことについて何か言われた経験がありますか	<b>0.516</b>	0.106	0.047	-0.018
一年後にも今の自分と同じような生活をしているだろうと思っただけですか	<b>0.492</b>	-0.097	-0.061	0.050
これまでに、人生に大きな影響を与えた予想外の出来事を経験したことがありますか	-0.169	<b>0.885</b>	0.009	0.011
人生ががらりと変わってしまった難局や岐路を経験したことがありますか	-0.132	<b>0.814</b>	-0.064	-0.011
これまで、起きないと思っていたことが実際に起きてしまった経験がありますか	0.216	<b>0.456</b>	0.052	-0.043
誰かに言われた一言が、のちにあなたの人生に影響を与えたことがありますか	0.115	0.371	0.250	-0.129
意思決定をした後に、それが当初思いもなかった結果をもたらしたことがありますか	0.285	0.345	0.063	0.075
小さな過ちが、のちに予想外に大きな問題につながったことがありますか	0.391	0.305	-0.130	0.131
こうなって欲しいという思いが成功につながったことがありますか	-0.153	-0.009	<b>0.862</b>	0.023
「自分が予測した通りに物事がうまくいった」ということを経験したことがありますか	0.045	-0.051	<b>0.669</b>	-0.017
明確な目標を設定したのに、途中で本来の目標よりもよいものを見つけたことがありますか	0.076	0.109	<b>0.429</b>	0.036
意思決定をするとき、それが最善の選択かどうか悩まずに決めることがありますか	-0.162	-0.055	0.027	<b>0.743</b>
これまでよく考えずに大きな意思決定をしたことがありますか	0.161	0.071	-0.154	<b>0.528</b>
状況を調べたり、何かを決めたりする方法として、考える前に行動することがありますか	0.016	-0.007	0.181	<b>0.472</b>
行動するときに、本能や直観に従うことがありますか	0.276	-0.067	0.159	0.291
何かを決定する時に参考にした情報が、のちに間違いだとわかったことがありますか	0.386	0.112	-0.016	0.185
明確な目標を設定した後に、別の目標に変更し、またもとの目標に設定しなおしたことがありますか	0.279	0.055	0.206	0.039

因子抽出法: 最尤法 回転法: Kaiser の正規化を伴うプロマックス法

### 3. 高校時代の特定の経験の有無は 環境変化への適応に役立っているのか

#### 3-1 経験と適応スタイルの関係

教科に取り組んだ経験, アルバイト経験はすべての適応スタイル因子得点において有意な差が確認された。さらに, イベント経験の有無は, 実現因子と直観因子が, リーダー経験の有無は, 難局因子と実現因子が, そして生涯にわたる友人の数は実現因子において有意差が確認された。

経験の有無による因子得点差の検定

被説明変数	説明変数					
	部活経験	イベント 経験	教科参加	リーダー 経験	バイト 経験	生涯友人
非安定因子	-0.02	0.01	0.15 **	0.01	0.07 **	-0.03
難局因子	-0.02	0.03	0.15 **	0.05 *	0.06 *	-0.02
実現因子	0.00	0.10 **	0.19 **	0.06 **	0.07 **	0.07 **
直観因子	0.00	0.07 **	0.07 **	0.02	0.06 **	0.02

\*\*  $p < 0.01$  \*  $p < 0.05$

#### 3-2 経験から得たことと適応スタイルの関係

次に「経験から得たこと」と4つの適応スタイル因子の関係を確認した。得た(1) 得ていない(0)とし, 適応スタイル因子の得点差の検定を実施したところ, 次ページの表のような結果になった。表中網掛け部分は有意な差が確認できなかった。

この結果から読み取れるのは, 「部活経験で自信をつけること」「教科の学習で知識技能を身に付けること」「教科の学習で失敗経験から学ぶことができること」「リーダー経験を通じて集団のスキルを身に付けること」以上どれかの経験からの学びの機会を持つことによって, 変化への適応が高くなる傾向にあるということである。そして, 部活を通して失敗から学ぶといった経験は, 非安定因子や難局因子を高めることとの関係が見られる。

#### ◇学校での活かし方

1. 積極的な機会を作る, 2. 経験の機会から各学びを獲得できるような個別指導の検討をおこなうということになるだろう。

経験から得たことを通じて高められる適応スタイル因子

経験	得たこと	高められる因子
部活	知識・技能	非安定・難局
	人間関係	非安定
	コミュニケーション	非安定
	失敗から学ぶ	非安定・難局
	自信	すべて
イベント	失敗から学ぶ	非安定・難局
教科	知識・技能	すべて
	精神力	実現
	達成感	非安定
	継続性	実現
	失敗から学ぶ	すべて
リーダー	自信	実現
	協調性	実現
	知識・技能	実現
	達成感	非安定
	集団スキル	すべて
アルバイト	対処	難局
	協調性	非安定
	対処	実現

「経験から得たこと」による適応スタイル因子得点差の検定

●部活	知識・技能				人間関係	コミュニケーション	継続性	礼儀	失敗学	集団スキル	自信	対処
	協調性	知識・技能	精神力	達成感								
非安定因子	0.134	0.047	0.656	0.301	0.046	0.030	0.393	0.988	0.003	0.124	0.008	0.281
難局因子	0.260	0.013	0.860	0.437	0.200	0.625	0.532	0.362	0.001	0.250	0.025	0.894
実現因子	0.486	0.625	0.161	0.757	0.203	0.022	0.233	0.774	0.108	0.078	0.004	0.564
直観因子	0.509	0.216	0.834	0.633	0.479	0.078	0.588	0.540	0.505	0.356	0.008	0.037

●イベント	知識・技能				人間関係	コミュニケーション	継続性	礼儀	失敗学	集団スキル	自信	対処
	協調性	知識・技能	精神力	達成感								
非安定因子	0.550	0.362	0.732	0.652	0.116	0.919	0.965	0.694	0.004	0.644	0.881	0.097
難局因子	0.880	0.442	0.422	0.938	0.570	0.629	0.952	0.768	0.000	0.630	0.194	0.107
実現因子	0.632	0.309	0.763	0.480	0.905	0.639	0.325	0.714	0.068	0.159	0.122	0.118
直観因子	0.557	0.258	0.229	0.331	0.375	0.909	0.674	0.981	0.080	0.770	0.282	0.134

●教科	知識・技能				人間関係	コミュニケーション	継続性	礼儀	失敗学	集団スキル	自信	対処
	協調性	知識・技能	精神力	達成感								
非安定因子	0.698	0.001	0.618	0.038	0.156	0.598	0.331	0.948	0.000	0.058	0.494	0.892
難局因子	0.566	0.020	0.136	0.465	0.830	0.670	0.698	0.726	0.000	0.148	0.178	0.611
実現因子	0.157	0.000	0.013	0.181	0.152	0.070	0.002	0.055	0.000	0.082	0.000	0.654
直観因子	0.737	0.007	0.524	0.787	0.263	0.845	0.945	0.873	0.017	0.684	0.462	0.741

●リーダー	知識・技能				人間関係	コミュニケーション	継続性	礼儀	失敗学	集団スキル	自信	対処
	協調性	知識・技能	精神力	達成感								
非安定因子	0.069	0.736	0.769	0.039	0.192	0.710	0.453	0.507	0.112	0.002	0.502	0.054
難局因子	0.213	0.583	0.446	0.069	0.559	0.492	0.292	0.529	0.101	0.004	0.398	0.045
実現因子	0.043	0.028	0.372	0.180	0.154	0.167	0.184	0.881	0.071	0.001	0.358	0.108
直観因子	0.285	0.747	0.819	0.164	0.805	0.839	0.984	0.188	0.115	0.013	0.346	0.131

●アルバイト	知識・技能				人間関係	コミュニケーション	継続性	礼儀	失敗学	集団スキル	自信	対処
	協調性	知識・技能	精神力	達成感								
非安定因子	0.026	0.388	0.318	0.823	0.187	0.289	0.934	0.567	0.878	0.797	0.746	0.104
難局因子	0.678	0.306	0.207	0.470	0.872	0.496	0.851	0.246	0.748	0.959	0.958	0.078
実現因子	0.914	0.158	0.388	0.735	0.155	0.579	0.497	0.666	0.659	0.480	0.372	0.018
直観因子	0.332	0.163	0.320	0.970	0.423	0.782	0.161	0.498	0.706	0.672	0.423	0.236

## 4. 高校時代の特定の経験の有無は キャリアパス満足度を高めるのか

次にキャリアパス満足度と経験の関係を確認する。

### 4-1. 経験の有無とキャリアパス満足度の関係

最初に、被説明変数をキャリアパス満足度の点数（70 点以上を「1」、未満を「0」）とし、説明変数をいずれも高校時代の部活経験，イベント参加経験，教科参加，リーダー経験，アルバイト経験，生涯の友人数としてロジスティック回帰分析を行った。「生涯の友人数」は、「高校時代の友人で生涯にわたる友人だと思える友人は何名いますか？」と質問している。

生涯友人数は量的変数とし，その他はカテゴリ変数とした。結果，決定係数は低い値となったものの，モデルの有効性が確認されたので係数の解釈をおこなった。この際，リーダー経験，アルバイト経験は，非有意であったため，再度，これらの変数を除外した分析をおこなった。

オッズ比（EXP（B））をみるとキャリアパス満足度得点に最も影響している要因は，イベント経験であり，1.592 となっている。在学中にイベントを経験しない人よりも経験した人の方が，キャリアパス満足度が高くなる可能性は約 1.6 倍である。次いで，部活経験（約 1.4），教科経験（約 1.4）がキャリアパス満足度を高める要因となっていることが示された。

キャリアパス満足度に影響を与える経験

Hosmer と Lemeshow の検定

ステップ	カイ 2 乗	自由度	有意確率
1	7.321	8	0.502

ステップ	高校時代 B の 活動経験	標準 誤差	Wald	自由度	有意 確率	Exp (B)	95.0% 信頼区間		
							下限	上限	
1(a)	部活経験	0.344	0.109	10.044	1	0.002	1.411	1.140	1.746
	イベント経	0.465	0.116	16.111	1	0.000	1.592	1.269	1.998
	教科経験	0.311	0.110	7.998	1	0.005	1.365	1.100	1.694
	生涯友人	0.039	0.016	5.677	1	0.017	1.039	1.007	1.073
	定数	-1.019	0.108	88.486	1	0.000	0.361		

## 4-2. 経験から得たこととキャリアパス満足度の関係

### ●クラブ活動経験

キャリアパス満足度を目的変数としたクラブ活動経験のロジスティック回帰分析結果

	全体		男性		女性		進学校		進学校ではない		進学と就職が半分づつ	
モデル係数のオムニバス検定	0.000		0.000		0.009		0.000				0.032	
HosmerとLemeshowの検定	0.995		0.547		0.915		0.722				0.983	
クラブ活動	EXP(β) (オッズ比)	有意確率	EXP(β) (オッズ比)	有意確率	EXP(β) (オッズ比)	有意確率	EXP(β) (オッズ比)	有意確率	EXP(β) (オッズ比)	有意確率	EXP(β) (オッズ比)	有意確率
協調性やチームワーク力が養われたこと	1.872	0.000	2.709	0.000			2.120	0.001			1.984	0.043
活動そのものを通して得られた知識や技能そのもの	1.601	0.014	2.192	0.006			1.952	0.010			2.409	0.034
精神的なタフさ、精神力が養われたこと	1.854	0.000	1.964	0.005	1.687	0.027	2.667	0.000				
何かをチームで達成することの喜びを知ったこと	2.038	0.000	2.439	0.002	1.675	0.043	2.714	0.000				
その活動を通じて得られた人脈や人間関係	1.840	0.002	2.575	0.002			2.062	0.006			2.310	0.049
対人コミュニケーション力が養われたこと	2.495	0.000	2.858	0.001	1.941	0.012	3.256	0.000			2.961	0.018
継続的に努力する習慣や態度が身についたこと	1.800	0.006	3.383	0.000			1.903	0.038				
礼儀や上下関係の基本が身についたこと	1.590	0.009	2.464	0.000								
失敗や困難な体験から学ぶことができたこと												
集団で物事を進める基本的なスキルが身についたこと												
自分に自信がついた	2.128	0.004	5.312	0.000			3.391	0.001				
突発的な出来事に対処できるようになった			4.814	0.027								

部活動経験のあるもののうち、オッズ比（EXP（B））の高いものから示すと、対人コミュニケーション力（約2.5）、自分に自信がついた（約2.1）、チームで達成することの喜び（約2）、協調性やチームワーク力（約1.9）、精神的なタフさ（約1.9）、活動を通して得られた人脈や人間関係（1.8）、継続的に努力する習慣や態度（1.8）、活動そのものを通して得られた技術（約1.6）、礼儀や上下関係の基本（約1.6）の順で「得た」と実感しているものは、キャリア得点が有意に高かった。特に男性は、「自分に自信がついた」と思っている場合は、そうでない場合に比してキャリアパス満足度が高くなる可能性は約5.3倍である。

### ●イベント経験

キャリアパス満足度を目的変数としたイベント経験のロジスティック回帰分析結果

	全体		男性		女性		進学校		進学校ではない		進学と就職が半分づつ	
モデル係数のオムニバス検定	0.001		0.001		0.002		0.001				0.001	
HosmerとLemeshowの検定	0.910		0.920		0.966		1.000		0.799		0.934	
イベント活動	EXP(β) (オッズ比)	有意確率	EXP(β) (オッズ比)	有意確率	EXP(β) (オッズ比)	有意確率	EXP(β) (オッズ比)	有意確率	EXP(β) (オッズ比)	有意確率	EXP(β) (オッズ比)	有意確率
協調性やチームワーク力が養われたこと			1.464	0.032								
活動そのものを通して得られた知識や技能そのもの												
精神的なタフさ、精神力が養われたこと	2.103	0.006			3.152	0.004	2.841	0.005				
何かをチームで達成することの喜びを知ったこと												
その活動を通じて得られた人脈や人間関係											2.862	0.013
対人コミュニケーション力が養われたこと												
継続的に努力する習慣や態度が身についたこと												
礼儀や上下関係の基本が身についたこと												
失敗や困難な体験から学ぶことができたこと	0.541	0.021	0.240	0.005								
集団で物事を進める基本的なスキルが身についたこと												
自分に自信がついた												
突発的な出来事に対処できるようになった												

イベントに一つでも熱心に取り組んだ経験のあるもののうち、キャリア得点が有意に高くなるのは、オッズ比（EXP（B））の高いものを示すと、イベント経験を通じて精神的なタフさ（約2.1）を学んだ場合である。また、進学校では、精神的なタフさを獲得した場合、そうでないものに比してキャリアパス満足度が高くなる可能性は約2.8倍であり、進学と就職が半々の高校の場合は、イベント経験を通じて人脈を得た場合、キャリアパス満足度は約2.9倍であった。

## ●教科取組み経験

キャリアパス満足度を目的変数とした教科取組み経験のロジスティック回帰分析結果

	全体		男性		女性		進学校		進学校ではない		進学と就職が半分づつ	
モデル係数のオムニバス検定	0.000		0.003		0.000		0.028		0.002		0.004	
HosmerとLemeshowの検定	0.942		0.993		0.848		0.997				0.303	
教科	EXP( $\beta$ ) (オッズ比)	有意確率										
協調性やチームワーク力が養われたこと												
活動そのものを通して得られた知識や技能そのもの	1.384	0.003	1.434	0.025	1.463	0.013					1.776	0.014
精神的なタフさ、精神力が養われたこと	1.502	0.016	1.784	0.016								
何かをチームで達成することの喜びを知ったこと												
その活動を通じて得られた人脈や人間関係												
対人コミュニケーション力が養われたこと												
継続的に努力する習慣や態度が身についたこと	1.294	0.037	1.587	0.011								
礼儀や上下関係の基本が身についたこと												
失敗や困難な体験から学ぶことができたこと												
集団で物事を進める基本的なスキルが身についたこと											2.138	0.035
自分に自信が身についた	1.695	0.000	1.691	0.002	1.816	0.000	1.491	0.014	2.033	0.002	1.771	0.030
突発的な出来事に対処できるようになった												

順に、自分に自信が身についた（約 1.7）、精神的なタフさ（約 1.5）、活動そのものを通して得られた技術や知識（約 1.4）、継続的に努力する習慣や態度（約 1.3）が有意にキャリアパス満足度を高くしていた。さらに特徴的なのは、性別・進学校の別にかかわらず、すべてのセルで、「自信が身についた」場合にキャリアパス満足度が高くなるということである。特に進学校でない場合には、「教科経験を通して自信が身についた」と回答したものは、そうでないものに比してキャリアパス満足度が高くなる可能性は約 2 倍である。

## ●リーダー経験

キャリアパス満足度を目的変数としたリーダー経験のロジスティック回帰分析結果

	全体		男性		女性		進学校		進学校ではない		進学と就職が半分づつ	
モデル係数のオムニバス検定	0.005		0.018				0.006		0.015			
HosmerとLemeshowの検定			1.000				0.952		1.000			
リーダー経験	EXP( $\beta$ ) (オッズ比)	有意確率	EXP( $\beta$ ) (オッズ比)	有意確率	EXP( $\beta$ ) (オッズ比)	有意確率	EXP( $\beta$ ) (オッズ比)	有意確率	EXP( $\beta$ ) (オッズ比)	有意確率	EXP( $\beta$ ) (オッズ比)	有意確率
協調性やチームワーク力が養われたこと												
活動そのものを通して得られた知識や技能そのもの												
精神的なタフさ、精神力が養われたこと												
何かをチームで達成することの喜びを知ったこと	2.118	0.007	2.278	0.041			2.723	0.019				
その活動を通じて得られた人脈や人間関係												
対人コミュニケーション力が養われたこと									0.382	0.025		
継続的に努力する習慣や態度が身についたこと												
礼儀や上下関係の基本が身についたこと												
失敗や困難な体験から学ぶことができたこと												
集団で物事を進める基本的なスキルが身についたこと												
自分に自信が身についた												
突発的な出来事に対処できるようになった												

「チームで達成することの喜びを知った」場合はそうでない場合に比して、キャリアパス満足度が高くなる可能性は約 2.1 倍である。同様の傾向は男性（約 2.3 倍）進学校（約 2.7 倍）において確認された。

## ●アルバイト経験

キャリアパス満足度を目的変数としたアルバイト経験のロジスティック回帰分析結果

	全体		男性		女性		進学校	進学校ではない	進学と就職が半分 づつ
モデル係数のオムニバス検定	0.012		0.036		0.008		0.003		
HosmerとLemeshowの検定	0.895		0.999				0.867		
アルバイト	EXP(β) (オッズ 比)	有意確率	EXP(β) (オッズ 比)	有意確率	EXP(β) (オッズ 比)	有意確率	EXP(β) (オッズ 比)	有意確率	EXP(β) (オッズ 比)
協調性やチームワーク力が養われたこと 活動そのものを通して得られた知識や技能そのもの 精神的なタフさ、精神力が養われたこと 何かをチームで達成することの喜びを知ったこと その活動を通じて得られた人脈や人間関係 対人コミュニケーション力が養われたこと 継続的に努力する習慣や態度が身についたこと 礼儀や上下関係の基本が身についたこと 失敗や困難な体験から学ぶことができたこと 集団で物事を進める基本的なスキルが身についたこと 自分に自信がついた 突発的な出来事に対処できるようになった	2.287	0.015	1.935	0.047	1.965	0.038	3.307	0.012	3.056
					3.092	0.022			0.046

全体では「突発的な出来事に対処できるようになった」場合、キャリアパス満足度が高くなる可能性は約 2.3 倍である。アルバイト経験で特徴的なのは、進学校ではない学校において、「自分に自信がついた」（約 3.3 倍）、「突発的な出来事に対処できるようになった」（約 3 倍）という結果を示していることである。

## ●学業成績

キャリアパス満足度を目的変数とした学業成績のロジスティック回帰分析結果

	全体		男性		女性	
モデル係数のオムニバス検定	0.001		0.001		0.014	
学業成績	EXP(β) 有意確率		EXP(β) 有意確率		EXP(β) 有意確率	
Hosmer と Lemeshow の検定						
1 上位5位以内	1.702	0.001	1.258	0.002	1.508	0.038
2 上位10位以内	1.598	0.001	1.208	0.002	1.490	0.012

全体では、学業成績がクラスで 5 位以内の場合、キャリアパス満足度が高くなる可能性は約 1.7 倍、10 位以内の場合は、約 1.6 倍である。

### ◆学校での活かし方

生徒らの卒業後のキャリアパス満足度を高めるためには、これまでに挙げたような経験と経験を通じて学べるような仕掛けが必要だということだ。

彼ら・彼女らたちに必要な経験はもちろん個々に異なるだろうが、ここに挙げた、活動と活動から得られる学びとの関係は参考になると思われる。

たとえば、進学校とそうではない学校とでは、同じ経験から得ている学びは異なっている。

進学校では、部活経験からの複数の学びがキャリアパス満足度を高めているが、進学校でない場合にはそうした効果は見られない。進学校でない場合、①教科の学習を通じて自分に自信がついたと思えること②アルバイト経験を通じて自分に自信がついたと思えること③同じくアルバイト経験を通じて突発的な出来事に対処できるようになったと思えることが、キャリアパス満足度を高めていることがわかる。この結果を見ると、教科学習の中で自信をつけられるような機会を 1 人ずつ積極的に作る大切だということがわかる。また、アルバイト経験については、学校によって禁止されているケースもあるため一律に実施を促すことはできないが、容認されている学校においては、こうした学校の外での経験も視野に入れた指導が必要になると言えるだろう。つまり、アルバイト経験から彼ら・彼女らが何を学んでいるのかを訊ねたり、経験から学んだことが将来どのように役立つと考えているのかを訊ねてみてもらおう。

## 5. これまでのキャリア選択行動は キャリアパス満足度と関係しているのか

以下では、キャリアパス満足度と高校での選択および就職後の選択についてそれぞれ関係を確認する。

### ●キャリアパス満足度と高校での選択の関係

高校段階までの選択はキャリア満足度にどのような影響をおよぼすのだろうか。「高校選択の理由」「高校でのコース選択理由」とキャリアパス満足度の相関係数を概観すると、両者には関係は見られなかった。

### ●キャリアパス満足度と就職後の選択の関係

就職後の選択はキャリア満足度にどのような影響をおよぼすのだろうか。「初職時の就職希望先と実際の就職先の一致」「就職理由」「転職の有無」「人生の転機時期」とキャリアパス満足度の相関係数を概観すると、両者に関係が見られるのは、「就職希望先と就職先が一致していたかどうか」ということのみであり、弱い相関が見られた。このことから、自分の人生の選択についての満足度（＝キャリアパス満足度）は、就職5年目の段階では、就職希望先と実際の就職先とが一致したかどうかという点のみと関係することがわかる。

	キャリアパス満足度	就職希望一致	就職理由	転職の有無	人生の転機時期
キャリアパス満足度	1				
就職希望一致	.34 **	1			
就職理由	-.19 **	-.29 **	1		
転職の有無	-.16 **	-.23 **	.08 **	1	
人生の転機時期	.03	.01	.01	.06 *	1

\*\* $p < 0.01$  \*  $p < 0.05$



## 付表1 回答者の属性

### F1 性別

合計	男性	女性
1730	875	855
100.0	50.6	49.4

### F2 年齢

合計	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳
1730	207	305	300	312	306	300
100.0	12.0	17.6	17.3	18.0	17.7	17.3

### F3 居住地

合計	北海道	東北	北関東・信越	中部	近畿	中国・四国	九州
1730	276	226	279	266	235	249	199
100.0	16.0	13.1	16.1	15.4	13.6	14.4	11.5

### F4 出身県

合計	北海道	東北	北関東・信越	中部	近畿	中国・四国	九州
1730	276	226	279	266	235	249	199
100.0	16.0	13.1	16.1	15.4	13.6	14.4	11.5

### F5 配偶者

合計	あり	なし
1730	93	1637
100.0	5.4	94.6

### F6 子ども

合計	あり	なし
1730	61	1669
100.0	3.5	96.5

### F7 居住形態

合計	一人住まい	家族と	知人・友人と
1730	195	1502	33
100.0	11.3	86.8	1.9

### F8 就業形態

合計	正社員・正職員	契約社員・嘱託	フリーター(社会人アルバイト)	自営・自由業	派遣	業務委託(一社専属)	業務委託(複数社と契約)
1730	590	173	812	66	59	23	7
100.0	34.1	10.0	46.9	3.8	3.4	1.3	0.4

### F9.3 入社時年齢

合計	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳
1730	943	309	239	128	76	35
100.0	54.5	17.9	13.8	7.4	4.4	2.0

### F10 職種

合計	経営者・役員	経営企画	総務・人事	財務・経理	一般事務	情報処理・情報システム	広報・宣伝	企画・調査・マーケティング	営業・販売	生産・製造	資材・購買
1730	7	4	18	12	203	26	3	9	349	222	5
100.0	0.4	0.2	1.0	0.7	11.7	1.5	0.2	0.5	20.2	12.8	0.3
	配送・物流	技術・設計	研究・開発	編集・編成・制作	専門職(建築・土木関連)	専門職(医療関連)	専門職(会計関連)	専門職(法律関連)	専門職(教育関連)	その他	
	55	35	11	7	34	50	5	1	34	640	
	3.2	2.0	0.6	0.4	2.0	2.9	0.3	0.1	2.0	37.0	

F11 勤務先規模

合計	1～9人	10～49人	50～99人	100～299人	300～499人	500～999人	1,000～2,999人	3,000～4,999人	5,000～9,999人	10,000～19,999人	20,000人以上
1730	404	584	236	230	81	59	64	12	15	18	27
100.0	23.4	33.8	13.6	13.3	4.7	3.4	3.7	0.7	0.9	1.0	1.6

F12 勤務先業種

合計	農林業、水産業	建設	自動車、輸送機器	電気、電子機器	機械、重電	素材	食品、医薬品、化粧品	その他製造	エネルギー	卸売・小売業・商社(含む)	金融・証券・保険
1730	20	63	59	70	26	15	115	85	15	237	19
100.0	1.2	3.6	3.4	4.0	1.5	0.9	6.6	4.9	0.9	13.7	1.1
	不動産	通信サービス	情報処理、SI、ソフトウェア	運輸	コンサル・会計・法律関連	放送・広告・出版・マスコミ	公務員(教員を除く)	教育・教育学習支援関係	医療	介護・福祉	飲食店・宿泊
	5	20	25	49	10	7	35	77	63	37	223
	0.3	1.2	1.4	2.8	0.6	0.4	2.0	4.5	3.6	2.1	12.9
	人材サービス	旅行	その他								
	41	8	406								
	2.4	0.5	23.5								

F14 年収

合計	200万円未満	200万円以上～400万円未満	400万円以上～600万円未満	600万円以上～800万円未満	800万円以上～1000万円未満	1000万円以上～1200万円未満	1500万円以上
1730	1172	508	36	7	4	1	2
100.0	67.7	29.4	2.1	0.4	0.2	0.1	0.1

Q2 出身地域に住み続けたい意向

合計	今の地域に住み続けたい	どちらかといえ、住み続けたい	どちらともいえない	あまり住み続けたくない	住み続けたくない
1730	492	644	412	131	51
100.0	28.4	37.2	23.8	7.6	2.9

SQ3.2 帰省の意向【現在の居住地と出身地が一致していない人ベース】

合計	はい	いいえ
384	171	213
22.2	9.9	12.3

Q5 高校時代の学科

合計	普通科	農業科	工業科	商業科	水産科	家庭科	看護	総合学科	その他
1730	1141	32	175	189	8	20	3	76	86
100.0	66.0	1.8	10.1	10.9	0.5	1.2	0.2	4.4	5.0

Q6 出身校の進学率

合計	進学する人のほうが多かった	就職する人のほうが多かった	進学と就職が半分ずつ
1730	893	478	359
100.0	51.6	27.6	20.8

Q7 高校時代の学業成績

合計	上位5位以内	上位10位以内	下位5位以内	その他
1730	243	443	125	919
100.0	14.0	25.6	7.2	53.1

Q8 高校時代の部活経験

合計	していた	していなかった
1730	1073	657
100.0	62.0	38.0

Q8.1 部活の種別【クラブ活動をしていた人ベース】

合計	運動部(団体競技)	運動部(主に個人競技)	運動部以外のクラブ(主に団体で活動する)	運動部以外のクラブ(主に個人で活動する)
1073	386	307	233	147
62.0	22.3	17.7	13.5	8.5

就業年数別就業形態

		合計	F8_就業形態							Q3_1_出身地一致	
			正社員・ 正職員	契約社 員・嘱託	フリー ター(社 会人アル バイター)	自営・自 由業	派遣	業務委託 (一社専 属)	業務委託 (複数社 と契約)	いいえ	はい
SF9_就業年数(年)	0	78	13	4	51	2	3	3	2	15	63
		100.0	16.7	5.1	65.4	2.6	3.8	3.8	2.6	19.2	80.8
	1	766	214	76	402	32	28	12	2	166	600
		100.0	27.9	9.9	52.5	4.2	3.7	1.6	0.3	21.7	78.3
	2	360	112	38	174	19	13	4	0	75	285
		100.0	31.1	10.6	48.3	5.3	3.6	1.1	0.0	20.8	79.2
	3	216	89	27	85	4	7	2	2	54	162
		100.0	41.2	12.5	39.4	1.9	3.2	0.9	0.9	25.0	75.0
	4	180	92	18	58	4	5	2	1	42	138
		100.0	51.1	10.0	32.2	2.2	2.8	1.1	0.6	23.3	76.7
	5	100	52	9	32	4	3	0	0	26	74
		100.0	52.0	9.0	32.0	4.0	3.0	0.0	0.0	26.0	74.0
	6	30	18	1	10	1	0	0	0	6	24
		100.0	60.0	3.3	33.3	3.3	0.0	0.0	0.0	20.0	80.0
合計	1730	590	173	812	66	59	23	7	384	1346	
	100.0	34.1	10.0	46.9	3.8	3.4	1.3	0.4	22.2	77.8	

## 付表2 調査設問一覧（単純集計値）

グループ

	回答数	%
合計	1730	100
北海道 男性18歳	19	1.1
北海道 男性19歳	23	1.3
北海道 男性20歳	25	1.4
北海道 男性21歳	26	1.5
北海道 男性22歳	25	1.4
北海道 男性23歳	26	1.5
北海道 女性18歳	11	0.6
北海道 女性19歳	24	1.4
北海道 女性20歳	24	1.4
北海道 女性21歳	26	1.5
北海道 女性22歳	24	1.4
北海道 女性23歳	23	1.3
東北 男性18歳	14	0.8
東北 男性19歳	20	1.2
東北 男性20歳	20	1.2
東北 男性21歳	19	1.1
東北 男性22歳	16	0.9
東北 男性23歳	20	1.2
東北 女性18歳	18	1.0
東北 女性19歳	21	1.2
東北 女性20歳	18	1.0
東北 女性21歳	20	1.2
東北 女性22歳	19	1.1
東北 女性23歳	21	1.2
北関東・信越 男性18歳	19	1.1
北関東・信越 男性19歳	24	1.4
北関東・信越 男性20歳	25	1.4
北関東・信越 男性21歳	26	1.5
北関東・信越 男性22歳	27	1.6
北関東・信越 男性23歳	24	1.4
北関東・信越 女性18歳	13	0.8
北関東・信越 女性19歳	23	1.3
北関東・信越 女性20歳	24	1.4
北関東・信越 女性21歳	24	1.4
北関東・信越 女性22歳	23	1.3
北関東・信越 女性23歳	27	1.6
中部 男性18歳	17	1.0
中部 男性19歳	26	1.5
中部 男性20歳	21	1.2
中部 男性21歳	24	1.4
中部 男性22歳	26	1.5
中部 男性23歳	22	1.3
中部 女性18歳	15	0.9
中部 女性19歳	21	1.2
中部 女性20歳	23	1.3
中部 女性21歳	24	1.4
中部 女性22歳	23	1.3
中部 女性23歳	24	1.4

	回答数	%
近畿 男性18歳	12	0.7
近畿 男性19歳	20	1.2
近畿 男性20歳	22	1.3
近畿 男性21歳	21	1.2
近畿 男性22歳	21	1.2
近畿 男性23歳	22	1.3
近畿 女性18歳	11	0.6
近畿 女性19歳	22	1.3
近畿 女性20歳	21	1.2
近畿 女性21歳	22	1.3
近畿 女性22歳	23	1.3
近畿 女性23歳	18	1.0
中国・四国 男性18歳	14	0.8
中国・四国 男性19歳	22	1.3
中国・四国 男性20歳	24	1.4
中国・四国 男性21歳	22	1.3
中国・四国 男性22歳	22	1.3
中国・四国 男性23歳	20	1.2
中国・四国 女性18歳	17	1.0
中国・四国 女性19歳	23	1.3
中国・四国 女性20歳	21	1.2
中国・四国 女性21歳	22	1.3
中国・四国 女性22歳	22	1.3
中国・四国 女性23歳	20	1.2
九州 男性18歳	14	0.8
九州 男性19歳	17	1.0
九州 男性20歳	17	1.0
九州 男性21歳	18	1.0
九州 男性22歳	17	1.0
九州 男性23歳	16	0.9
九州 女性18歳	13	0.8
九州 女性19歳	19	1.1
九州 女性20歳	15	0.9
九州 女性21歳	18	1.0
九州 女性22歳	18	1.0
九州 女性23歳	17	1.0

F1 あなたの性別をお知らせください。(SA)

	回答数	%
合計	1730	100
男性	875	50.6
女性	855	49.4

F2\_1 あなたの年齢をお知らせください。/歳(NU)

	回答数	%
合計	1730	100
18	207	12.0
19	305	17.6
20	300	17.3
21	312	18.0
22	306	17.7
23	300	17.3

F3 あなたの現在お住まいの地域をお知らせください。(SA)

	回答数	%
合計	1730	100
北海道	276	16.0
青森県	38	2.2
岩手県	28	1.6
宮城県	70	4.0
秋田県	18	1.0
山形県	26	1.5
福島県	46	2.7
茨城県	67	3.9
栃木県	43	2.5
群馬県	61	3.5
新潟県	61	3.5
富山県	9	0.5
石川県	14	0.8
福井県	28	1.6
長野県	47	2.7
岐阜県	33	1.9
静岡県	46	2.7
愛知県	143	8.3
三重県	21	1.2

	回答数	%
滋賀県	78	4.5
奈良県	82	4.7
和歌山県	47	2.7
鳥取県	11	0.6
島根県	16	0.9
岡山県	43	2.5
広島県	60	3.5
山口県	33	1.9
徳島県	17	1.0
香川県	26	1.5
愛媛県	32	1.8
高知県	11	0.6
佐賀県	26	1.5
長崎県	41	2.4
熊本県	45	2.6
大分県	33	1.9
宮崎県	22	1.3
鹿児島県	32	1.8

F4 あなたの卒業した高校のある地域をお知らせください。(SA)

	回答数	%
合計	1730	100
北海道	269	15.5
青森県	40	2.3
岩手県	29	1.7
宮城県	65	3.8
秋田県	18	1.0
山形県	27	1.6
福島県	52	3.0
茨城県	54	3.1
栃木県	40	2.3
群馬県	59	3.4
埼玉県	4	0.2
千葉県	6	0.3
東京都	7	0.4
神奈川県	2	0.1
新潟県	65	3.8
富山県	16	0.9
石川県	11	0.6
福井県	25	1.4
山梨県	3	0.2
長野県	41	2.4
岐阜県	38	2.2
静岡県	41	2.4
愛知県	141	8.2

	回答数	%
三重県	21	1.2
滋賀県	60	3.5
京都府	11	0.6
大阪府	14	0.8
兵庫県	7	0.4
奈良県	72	4.2
和歌山県	44	2.5
鳥取県	10	0.6
島根県	16	0.9
岡山県	47	2.7
広島県	60	3.5
山口県	33	1.9
徳島県	18	1.0
香川県	21	1.2
愛媛県	31	1.8
高知県	11	0.6
福岡県	9	0.5
佐賀県	26	1.5
長崎県	39	2.3
熊本県	44	2.5
大分県	31	1.8
宮崎県	20	1.2
鹿児島県	32	1.8

F5 あなたの配偶者についてお知らせください。(SA)

	回答数	%
合計	1730	100
あり	93	5.4
なし	1637	94.6

F6 お子様の有無についてお知らせください。(SA)

	回答数	%
合計	1730	100
あり	61	3.5
なし	1669	96.5

F7 あなたの同居の形態についてお知らせください。(SA)

	回答数	%
合計	1730	100
一人住まい	195	11.3
家族と	1502	86.8
知人・友人と	33	1.9

F8 あなたの現在の働き方(就業形態)は、次のどれにあたりますか。(SA)

	回答数	%
合計	1730	100
正社員・正職員	590	34.1
契約社員・嘱託	173	10.0
フリーター(社会人アルバイト)	812	46.9
自営・自由業	66	3.8
派遣	59	3.4
業務委託(一社専属)	23	1.3
業務委託(複数社と契約)	7	0.4

F9\_1 あなたが働きはじめたのはいつですか。またそのときは何歳でしたか。  
※本報告書では年齢のみ表示

	回答数	%
合計	1730	100
18	943	54.5
19	309	17.9
20	239	13.8
21	128	7.4
22	76	4.4
23	35	2.0

F10 あなたのお勤め先での職種についてお知らせください。(SA)

	回答数	%
合計	1730	100
経営者・役員	7	0.4
経営企画	4	0.2
総務・人事	18	1.0
財務・経理	12	0.7
一般事務	203	11.7
情報処理・情報システム	26	1.5
広報・宣伝	3	0.2
企画・調査・マーケティング	9	0.5
営業・販売	349	20.2
生産・製造	222	12.8
資材・購買	5	0.3

	回答数	%
配送・物流	55	3.2
技術・設計	35	2.0
研究・開発	11	0.6
編集・編成・制作	7	0.4
専門職(建築・土木関連)	34	2.0
専門職(医療関連)	50	2.9
専門職(会計関連)	5	0.3
専門職(法律関連)	1	0.1
専門職(教育関連)	34	2.0
その他	640	37.0

F11 あなたのお勤め先の従業員数についてお知らせください。(SA)

	回答数	%
合計	1730	100
1～9人	404	23.4
10～49人	584	33.8
50～99人	236	13.6
100～299人	230	13.3
300～499人	81	4.7
500～999人	59	3.4
1,000～2,999人	64	3.7
3,000～4,999人	12	0.7
5,000～9,999人	15	0.9
10,000～19,999人	18	1.0
20,000人以上	27	1.6

F12 あなたのお勤め先の業種についてお知らせください。(SA)

	回答数	%		回答数	%
合計	1730	100	通信サービス	20	1.2
農林業, 水産業	20	1.2	情報処理, SI, ソフトウェア	25	1.4
建設	63	3.6	運輸	49	2.8
自動車, 輸送機器	59	3.4	コンサル・会計・法律関連	10	0.6
電気, 電子機器	70	4.0	放送・広告・出版・マスコミ	7	0.4
機械, 重電	26	1.5	公務員(教員を除く)	35	2.0
素材	15	0.9	教育・教育学習支援関係	77	4.5
食品, 医薬, 化粧品	115	6.6	医療	63	3.6
その他製造	85	4.9	介護・福祉	37	2.1
エネルギー	15	0.9	飲食店・宿泊	223	12.9
卸売・小売業・商業(商社含む)	237	13.7	人材サービス	41	2.4
金融・証券・保険	19	1.1	旅行	8	0.5
不動産	5	0.3	その他	406	23.5

F13 あなたの最終卒業校をお知らせください。(SA)

	回答数	%
高等学校	1730	100.0

F14 昨年のあなたの年収(2010年4月～2011年3月末までの税込みの実績)をお教えてください。(SA)

	回答数	%
合計	1730	100
200万円未満	1172	67.7
200万円以上～400万円未満	508	29.4
400万円以上～600万円未満	36	2.1
600万円以上～800万円未満	7	0.4
800万円以上～1000万円未満	4	0.2
1000万円以上～1200万円未満	1	0.1
1500万円以上	2	0.1

Q1

普段の生活で、あなたにとって大切なことをお伺いします。下記の項目について、それぞれについて、あてはまるものをお知らせください。(SA)

## 1.心を支え合える家族がいること

	回答数	%
合計	1730	100
そう思わない	70	4.0
あまりそう思わない	77	4.5
どちらともいえない	242	14.0
ややそう思う	659	38.1
そう思う	682	39.4

## 2.家族の問題を解決する際に、家族全員で相談できること

	回答数	%
合計	1730	100
そう思わない	72	4.2
あまりそう思わない	159	9.2
どちらともいえない	412	23.8
ややそう思う	694	40.1
そう思う	393	22.7

## 3.生活していくのに十分な収入や貯蓄があること

	回答数	%
合計	1730	100
そう思わない	104	6.0
あまりそう思わない	160	9.2
どちらともいえない	292	16.9
ややそう思う	593	34.3
そう思う	581	33.6

## 4.欲しいモノや情報を保有したり入手したりできること

	回答数	%
合計	1730	100
そう思わない	53	3.1
あまりそう思わない	117	6.8
どちらともいえない	399	23.1
ややそう思う	762	44.0
そう思う	399	23.1

## 5.地域における雇用の場を確保すること

	回答数	%
合計	1730	100
そう思わない	59	3.4
あまりそう思わない	119	6.9
どちらともいえない	511	29.5
ややそう思う	673	38.9
そう思う	368	21.3

## 6.適切な雇用・労働関係を実現すること

	回答数	%
合計	1730	100
そう思わない	58	3.4
あまりそう思わない	100	5.8
どちらともいえない	451	26.1
ややそう思う	692	40.0
そう思う	429	24.8

7.地域の仲間と思いやりのある人付き合いをすること

	回答数	%
合計	1730	100
そう思わない	64	3.7
あまりそう思わない	133	7.7
どちらともいえない	499	28.8
ややそう思う	697	40.3
そう思う	337	19.5

8.地域において友人や地元の人から頼りにされること

	回答数	%
合計	1730	100
そう思わない	75	4.3
あまりそう思わない	199	11.5
どちらともいえない	633	36.6
ややそう思う	601	34.7
そう思う	222	12.8

9.病気がなく健康に生活できること

	回答数	%
合計	1730	100
そう思わない	60	3.5
あまりそう思わない	52	3.0
どちらともいえない	208	12.0
ややそう思う	563	32.5
そう思う	847	49.0

10.適度にリフレッシュでき、ストレスが溜まらないこと

	回答数	%
合計	1730	100
そう思わない	62	3.6
あまりそう思わない	64	3.7
どちらともいえない	249	14.4
ややそう思う	703	40.6
そう思う	652	37.7

11.自分の思い通りになる時間が多いこと

	回答数	%
合計	1730	100
そう思わない	51	2.9
あまりそう思わない	104	6.0
どちらともいえない	425	24.6
ややそう思う	745	43.1
そう思う	405	23.4

12.趣味に熱中できること

	回答数	%
合計	1730	100
そう思わない	57	3.3
あまりそう思わない	91	5.3
どちらともいえない	414	23.9
ややそう思う	723	41.8
そう思う	445	25.7

13.自ら学び・習う機会があり、好奇心をもち続けること

	回答数	%
合計	1730	100
そう思わない	61	3.5
あまりそう思わない	105	6.1
どちらともいえない	532	30.8
ややそう思う	702	40.6
そう思う	330	19.1

14.他者の行動や思索、文芸作品、自然などに感動すること

	回答数	%
合計	1730	100
そう思わない	68	3.9
あまりそう思わない	200	11.6
どちらともいえない	695	40.2
ややそう思う	559	32.3
そう思う	208	12.0

15.住民の声が地域の政治や政策に反映されること

	回答数	%
合計	1730	100
そう思わない	89	5.1
あまりそう思わない	226	13.1
どちらともいえない	690	39.9
ややそう思う	508	29.4
そう思う	217	12.5

16.地域の秩序があり住民に公平・公正な社会制度が構築・運営されていること

	回答数	%
合計	1730	100
そう思わない	75	4.3
あまりそう思わない	163	9.4
どちらともいえない	629	36.4
ややそう思う	587	33.9
そう思う	276	16.0

Q2 あなたは、今お住まいの地域に住み続けたいですか。あてはまるものをお知らせください。(SA)

	回答数	%
合計	1730	100
今の地域に住み続けたい	492	28.4
どちらかといえば、住み続けたい	644	37.2
どちらともいえない	412	23.8
あまり住み続けたくない	131	7.6
住み続けたくない	51	2.9

Q3 お住まいの地域の若者は、その地域で働く機会に恵まれていると思いますか。あてはまるものをお知らせください。(SA)

	回答数	%
合計	1730	100
地域で働く機会に恵まれている	155	9.0
どちらかという、地域で働く機会に恵まれている	426	24.6
どちらともいえない	579	33.5
どちらかといえば、地域で働く機会に恵まれていない	408	23.6
地域で働く機会に恵まれていない	162	9.4

SQ3\_1 あなたが今住んでいる場所はあなたが育った地域と一致していますか？(SA)

	回答数	%
合計	1730	100
いいえ	384	22.2
はい	1346	77.8

SQ3.2 将来、育った地域に戻りたいと考えていますか？(SA)

	回答数	%
合計	384	100
いいえ	213	12.3
はい	171	9.9

Q4.1 全体として、あなたは普段の生活でどの程度、幸せを感じていますか。あなたのお気持ちを、「とても幸せ」を9点～「とても不幸せ」を0点として、お知らせください。(SA)

	回答数	%
合計	1730	100
0	19	1.1
1	25	1.4
2	98	5.7
3	119	6.9
4	200	11.6
5	346	20.0
6	309	17.9
7	391	22.6
8	164	9.5
9	59	3.4

Q5 あなたの通っていた高校の学科をお知らせください。(SA)

	回答数	%
合計	1730	100
普通科	1141	66.0
農業科	32	1.8
工業科	175	10.1
商業科	189	10.9
水産科	8	0.5
家庭科	20	1.2
看護	3	0.2
総合学科	76	4.4
その他	86	5.0

Q6 あなたの通っていた高校は進学する人と就職する人、どちらのほうが多かったですか。(SA)

	回答数	%
合計	1730	100
進学する人のほうが多かった	893	51.6
就職する人のほうが多かった	478	27.6
進学と就職が半分ずつ	359	20.8

Q7 あなたの高校時代の成績(学業成績)は、クラスの中でどれくらいでしたか？(SA)

	回答数	%
合計	1730	100
上位5位以内	243	14.0
上位10位以内	443	25.6
下位5位以内	125	7.2
その他	919	53.1

Q8 あなたは高校時代にクラブ活動をしていましたか？(SA)

	回答数	%
合計	1730	100
していなかった	657	38.0
していた	1073	62.0

SQ8.1 高校時代にクラブ活動をしていた方にお聞きします。メインで所属していたクラブ活動の種類を教えてください。(SA)

※回答条件: Q8でクラブ活動をしていたと答えた人

	回答数	%
合計	1073	100
運動部(団体競技)	386	36.0
運動部(主に個人競技)	307	28.6
運動部以外のクラブ(主に団体で活動する)	233	21.7
運動部以外のクラブ(主に個人で活動する)	147	13.7

SQ8\_2 高校時代の部活動を通じてあなたが得られたことは何ですか。主なものをお答えください。(MA)

※回答条件: Q8でクラブ活動をしていたと答えた人

	回答数	%
合計	1073	100
協調性	428	39.9
知識技能	205	19.1
精神力	248	23.1
達成感	166	15.5
人間関係	161	15.0
コミュニケーション	144	13.4
継続性	122	11.4
礼儀	221	20.6
失敗学習	60	5.6
集団スキル	53	4.9
自信	77	7.2
対処	17	1.6
その他	11	1.0

Q9 あなたはイベント活動(体育祭や文化祭などの学校行事)の中で1つでも積極的に取り組んだものはありますか?(SA)

	回答数	%
合計	1730	100
ない	646	37.3
ある	1084	62.7

SQ9\_1 高校時代のイベント活動(体育祭や文化祭などの学校行事)を通してあなたが得られたことは何ですか? 主なものをお答えください。(MA)

※回答条件: Q9で積極的に取り組んだイベント活動があると答えた人

	回答数	%
合計	1084	100
協調性	560	51.7
知識技能	102	9.4
精神力	67	6.2
達成感	438	40.4
人間関係	131	12.1
コミュニケーション	207	19.1
継続性	38	3.5
礼儀	55	5.1
失敗学習	65	6.0
集団スキル	174	16.1
自信	100	9.2
対処	21	1.9
その他	7	0.6

SQ9\_2 あなたは教科の学習活動の中で1つでも積極的に取り組んだものはありますか?(SA)

	回答数	%
合計	1730	100
いいえ	734	42.4
はい	996	57.6

SQ9\_3 教科の学習活動を通してあなたが得られたことは何ですか? 主なものをお答えください。(MA)

	回答数	%
合計	1730	100
協調性	166	9.6
知識技能	514	29.7
精神力	164	9.5
達成感	131	7.6
人間関係	109	6.3
コミュニケーション	198	11.4
継続性	342	19.8
礼儀	133	7.7
失敗学習	217	12.5
集団スキル	148	8.6
自信	393	22.7
対処	38	2.2
その他	58	3.4

Q10 あなたは高校時代に生徒会や委員会、部活などでリーダー(会長・委員長・部長)を経験したことがありますか？(SA)

	回答数	%
合計	1730	100
経験していない	1289	74.5
経験した	441	25.5

SQ10.1 リーダー経験を通してあなたが得られたことは何ですか？主なものをお答えください。(MA)

※回答条件:Q10でリーダーを経験したと答えた人

	回答数	%
合計	441	100
協調性	126	28.6
知識技能	35	7.9
精神力	71	16.1
達成感	72	16.3
人間関係	69	15.6
コミュニケーション	115	26.1
継続性	21	4.8
礼儀	45	10.2
失敗学習	36	8.2
集団スキル	77	17.5
自信	73	16.6
対処	26	5.9
その他	2	0.5

Q11.1 高校時代の友人で「生涯にわたる友人」だと思える友人は何名いますか？/人(NU)

	回答数	%
合計	1730	100
0	182	10.5
1	196	11.3
2	395	22.8
3	405	23.4
4	91	5.3
5	297	17.2
6	34	2.0
7	13	0.8
8	20	1.2
9	3	0.2
10	65	3.8
12	5	0.3
13	1	0.1
15	8	0.5
16	1	0.1
20	8	0.5
24	1	0.1
30	1	0.1
40	3	0.2
43	1	0.1

Q12 あなたは高校時代にアルバイトを経験したことがありますか？(SA)

	回答数	%
合計	1730	100
経験していない	870	50.3
経験した	860	49.7

SQ12.1 アルバイト経験を通してあなたが得られたことは何ですか？主なものをお答えください。(MA)

※回答条件:Q12でアルバイトを経験したと答えた人

	回答数	%
合計	860	49.71098
協調性	92	10.7
知識技能	84	9.8
精神力	134	15.6
達成感	16	1.9
人間関係	103	12.0
コミュニケーション	332	38.6
継続性	64	7.4
礼儀	365	42.4
失敗学習	98	11.4
集団スキル	34	4.0
自信	82	9.5
対処	39	4.5
その他	14	1.6

Q13 あなたが卒業した高校を選んだ理由についてお知らせください。(MA)

	回答数	%
合計	1730	100
幅広い進路を確保しておきたかったから	501	29.0
将来就きたい仕事に関連のある学問分野だったから	295	17.1
自分の学力で入れる高校だったから	1105	63.9
進学した高校の学問分野に興味があったから	263	15.2
就職に有利だと思ったから	366	21.2
先生のすすめ	394	22.8
親のすすめ	510	29.5
その他	136	7.9

SQ13 あなたが、高校を選んだ理由のうち、選択に最も影響した理由について、一つだけお知らせください。(SA)

	回答数	%
合計	1730	100
幅広い進路を確保しておきたかったから	234	13.5
将来就きたい仕事に関連のある学問分野だったから	126	7.3
自分の学力で入れる高校だったから	710	41.0
進学した高校の学問分野に興味があったから	107	6.2
就職に有利だと思ったから	155	9.0
先生のすすめ	87	5.0
親のすすめ	192	11.1
その他	119	6.9

Q14 高校で、文系・理系のうち選択したコースについてお知らせください。(SA)

	回答数	%
合計	1730	100
文系コース	605	35.0
理系コース	448	25.9
文系や理系以外のコース	51	2.9
文理選択はおこなっていない	626	36.2

SQ14.1 あなたが、前問で回答したコースを選んだ理由についてお知らせください。(MA)

	回答数	%
合計	1730	100
将来就きたい仕事があったから	376	21.7
自分の好きな科目だったから	609	35.2
就職に有利だと思ったから	341	19.7
自分の得意な科目だったから	553	32.0
幅広い進路を確保しておきたかったから	311	18.0
先生のすすめ	273	15.8
親のすすめ	277	16.0
その他	134	7.7

SQ14.2 あなたが、前問で回答したコースを選んだ理由のうち、  
 選択に最も影響した理由について、一つだけお知らせください。(SA)

	回答数	%
合計	1730	100
将来就きたい仕事があったから	244	14.1
自分の好きな科目だったから	377	21.8
就職に有利と思ったから	209	12.1
自分の得意な科目だったから	303	17.5
幅広い進路を確保しておきたかったから	181	10.5
先生のすすめ	138	8.0
親のすすめ	145	8.4
その他	133	7.7

Q15 あなたの、初めての就職のときを振り返ってお答えください。実際の就職先とあなたの就職希望との一致度をお知らせください。(SA)

	回答数	%
合計	1730	100
まったく、希望どおりではなかった	207	12.0
あまり希望どおりではなかった	256	14.8
どちらともいえない	637	36.8
おおむね希望どおりの就職先だった	452	26.1
希望どおりの就職先だった	178	10.3

Q16 あなたの初めての就職先に就職した理由をお答えください。(SA)

	回答数	%
合計	1730	100
ぜひやってみたい仕事があった	273	15.8
早く自分で稼ぎたい	790	45.7
いずれ家業を継ぐ	43	2.5
周囲から勧められた	249	14.4
学校での勉強はもう十分だと思った	199	11.5
他の土地に行きたいと思った	68	3.9
その他	108	6.2

Q17 あなたの、転職の有無についておうかがいします。あなたは、どのくらい転職しましたか。あてはまるものをお知らせください。(SA)

	回答数	%
合計	1730	100
0回(転職したことがない)	1220	70.5
1回	279	16.1
2回	133	7.7
3回～5回	82	4.7
6回以上	16	0.9

Q18 あなたの人生の節目となった最初の選択についてお伺いします。それはいつの時期でしょうか。あてはまるものをお知らせください。(SA)

	回答数	%
合計	1730	100
小学校入学前	32	1.8
小学校在学中	97	5.6
中学校入学時	71	4.1
中学校在学中	275	15.9
高校入学時	466	26.9
高校在学中	448	25.9
就職活動中	138	8.0
就職してから	171	9.9
転職時	32	1.8

Q19.1 これまでの人生経験や仕事経験を振り返り、自身の「人生における選択」に点数をつけるとしたら、何点でしょうか？ 100点満点でお知らせください。／点(NU)

	回答数
合計	1730
平均	60.18
最小値	0
最大値	100

Q20

あなたの行動や考え方についてお伺いします。以下の項目について、あてはまるものについて、お知らせください。(SA)

1.わりと何でもすぐにものごとを諦めるほうだ

	回答数	%
合計	1730	100
あてはまらない	110	6.4
あまりあてはまらない	409	23.6
どちらともいえない	732	42.3
ややあてはまる	397	22.9
あてはまる	82	4.7

2.なかなかうまくいかなくても粘り抜くほうだ

	回答数	%
合計	1730	100
あてはまらない	54	3.1
あまりあてはまらない	289	16.7
どちらともいえない	683	39.5
ややあてはまる	550	31.8
あてはまる	154	8.9

3.ものごとを中途半端なままで投げ出すのは嫌いだ

	回答数	%
合計	1730	100
あてはまらない	46	2.7
あまりあてはまらない	191	11.0
どちらともいえない	633	36.6
ややあてはまる	644	37.2
あてはまる	216	12.5

4.やり始めたことには全力で取り組む

	回答数	%
合計	1730	100
あてはまらない	30	1.7
あまりあてはまらない	167	9.7
どちらともいえない	621	35.9
ややあてはまる	672	38.8
あてはまる	240	13.9

5.目標に向かって全力を尽くした後の爽快感が好きだ

	回答数	%
合計	1730	100
あてはまらない	49	2.8
あまりあてはまらない	175	10.1
どちらともいえない	568	32.8
ややあてはまる	657	38.0
あてはまる	281	16.2

6.挫折しても努力し続ける

	回答数	%
合計	1730	100
あてはまらない	54	3.1
あまりあてはまらない	300	17.3
どちらともいえない	767	44.3
ややあてはまる	503	29.1
あてはまる	106	6.1

7.めざすべき目標がないと物足りない

	回答数	%
合計	1730	100
あてはまらない	42	2.4
あまりあてはまらない	193	11.2
どちらともいえない	711	41.1
ややあてはまる	589	34.0
あてはまる	195	11.3

8.たえず自分が前進しているという実感がほしい

	回答数	%
合計	1730	100
あてはまらない	44	2.5
あまりあてはまらない	194	11.2
どちらともいえない	655	37.9
ややあてはまる	629	36.4
あてはまる	208	12.0

9.自分から進んで何かをしようとはしないほうだ

	回答数	%
合計	1730	100
あてはまらない	117	6.8
あまりあてはまらない	381	22.0
どちらともいえない	692	40.0
ややあてはまる	438	25.3
あてはまる	102	5.9

Q21 あなたが、これまでに経験した想定通りだったことや想定外のことについてお伺いします。あなたの経験の有無についてお知らせください。(SA)

1.明確な目標を設定したのに、途中で本来の目標よりもよいものを見つけたことがありますか

	回答数	%
合計	1730	100
ない	123	7.1
どちらかといえばない	691	39.9
どちらかといえばある	704	40.7
ある	212	12.3

2.行動するときに、本能や直観に従うことがありますか

	回答数	%
合計	1730	100
ない	60	3.5
どちらかといえばない	433	25.0
どちらかといえばある	931	53.8
ある	306	17.7

3.これまでに、人生に大きな影響を与えた予想外の出来事を経験したことがありますか

	回答数	%
合計	1730	100
ない	140	8.1
どちらかといえばない	645	37.3
どちらかといえばある	594	34.3
ある	351	20.3

4.小さな過ちが、のちに予想外に大きな問題につながったことがありますか

	回答数	%
合計	1730	100
ない	149	8.6
どちらかといえばない	637	36.8
どちらかといえばある	642	37.1
ある	302	17.5

5.状況を調べたり、何かを決めたりする方法として、考える前に行動することがありますか

	回答数	%
合計	1730	100
ない	97	5.6
どちらかといえばない	657	38.0
どちらかといえばある	766	44.3
ある	210	12.1

6.人生ががらりと変わってしまった難局や岐路を経験したことがありますか

	回答数	%
合計	1730	100
ない	201	11.6
どちらかといえばない	644	37.2
どちらかといえばある	536	31.0
ある	349	20.2

7.明確な目標を設定した後に、別の目標に変更し、またもとの目標に設定しなおしたことがありますか

	回答数	%
合計	1730	100
ない	144	8.3
どちらかといえばない	695	40.2
どちらかといえばある	701	40.5
ある	190	11.0

8.意思決定をした後に、それが当初思いもなかった結果をもたらしたことがありますか

	回答数	%
合計	1730	100
ない	89	5.1
どちらかといえばない	577	33.4
どちらかといえばある	772	44.6
ある	292	16.9

9.意思決定をするとき、それが最善の選択かどうか悩まずに決めることがありますか

	回答数	%
合計	1730	100
ない	174	10.1
どちらかといえばない	747	43.2
どちらかといえばある	653	37.7
ある	156	9.0

10.自分がある状況を一方向から見ていたのに対して、他人が全く違う見方をしていたという経験がありますか

	回答数	%
合計	1730	100
ない	72	4.2
どちらかといえばない	473	27.3
どちらかといえばある	823	47.6
ある	362	20.9

11.これまで、リスクを恐れて重要なことをしなかった経験がありますか

	回答数	%
合計	1730	100
ない	93	5.4
どちらかといえばない	565	32.7
どちらかといえばある	780	45.1
ある	292	16.9

12.「自分が予測した通りに物事がうまくいった」ということを経験したことがありますか

	回答数	%
合計	1730	100
ない	62	3.6
どちらかといえばない	471	27.2
どちらかといえばある	841	48.6
ある	356	20.6

13.自分ではまったく気づいていなかったあなた自身のことについて何か言われた経験がありますか

	回答数	%
合計	1730	100
ない	78	4.5
どちらかといえばない	478	27.6
どちらかといえばある	822	47.5
ある	352	20.3

14.一年後にも今の自分と同じような生活をしているだろうと思ったことがありますか

	回答数	%
合計	1730	100
ない	109	6.3
どちらかといえばない	419	24.2
どちらかといえばある	863	49.9
ある	339	19.6

15.誰かに言われた一言が、のちにあなたの人生に影響を与えたことがありますか

	回答数	%
合計	1730	100
ない	134	7.7
どちらかといえばない	599	34.6
どちらかといえばある	706	40.8
ある	291	16.8

16.これまでよく考えずに大きな意思決定をしたことがありますか

	回答数	%
合計	1730	100
ない	161	9.3
どちらかといえばない	631	36.5
どちらかといえばある	675	39.0
ある	263	15.2

17. 欲しいものを手に入れてから、ほかのものの方がよかったと思ったことがありますか

	回答数	%
合計	1730	100
ない	59	3.4
どちらかといえばない	402	23.2
どちらかといえばある	850	49.1
ある	419	24.2

18. これまで、起きないと思っていたことが実際に起きてしまった経験がありますか

	回答数	%
合計	1730	100
ない	83	4.8
どちらかといえばない	505	29.2
どちらかといえばある	751	43.4
ある	391	22.6

19. こうなって欲しいという思いが成功につながったことがありますか

	回答数	%
合計	1730	100
ない	107	6.2
どちらかといえばない	557	32.2
どちらかといえばある	787	45.5
ある	279	16.1

20. 何かを決定する時に参考にした情報が、のちに間違いだとわかったことがありますか

	回答数	%
合計	1730	100
ない	99	5.7
どちらかといえばない	626	36.2
どちらかといえばある	784	45.3
ある	221	12.8

21. マンネリにおちいってしまった経験がありますか

	回答数	%
合計	1730	100
ない	93	5.4
どちらかといえばない	446	25.8
どちらかといえばある	824	47.6
ある	367	21.2

22. 知らない方がよかったと思ったことがありますか

	回答数	%
合計	1730	100
ない	90	5.2
どちらかといえばない	432	25.0
どちらかといえばある	722	41.7
ある	486	28.1

**「ローカル高卒就職者のキャリアと  
高校時代の経験に関する調査」報告書**

**2012年3月発行**

**発行:リクルート ワークス研究所  
調査・分析:辰巳哲子**

©株式会社リクルート 本冊子記事の無断複製転載を禁じます

# Works Report 2011

「ローカル高卒就職者のキャリアと高校時代の経験に関する調査」報告書

株式会社リクルート ワークス研究所

〒100-6640 東京都千代田区丸の内1-9-2

グラントウキョウサウスタワー

TEL 03-6835-9200